

令和5年度 あおい幼稚園 学校評価結果

令和6年3月30日

学校法人 あおい学園 あおい幼稚園

1 教育目標

心身ともに健康で独立心に富む子の育成

2 本年度の重点目標と園評価の記録

◎重点目標
(1) 夢中になって遊ぶ中に 一人一人の思いが実現できる様な援助と環境を整える
(2) 共通課題に向かう教職員の協力体制作り
(3) 保護者を含む地域の方々に幼稚園理解を得る

◎園評価の記録

- ・園評価についての共通理解 (4月)
- ・中間評価 (7月・12月)
- ・総括的な自己評価 (3月)

3 評価項目の達成状況

評価項目	結果	理由
(1) 子ども一人一人に寄り添い特性や発達ねらいに適した援助や主体性や創造性を大事にして環境構成を行う。ひらめきや遊びを深める教材・用具を用意する。	A	子どもの遊びの旬を探り、興味が深まる様な環境構成に努めた。園外保育に出かけた先で興味を持った事柄を捉え、子どもが楽しく製作できるように身近に教材を準備し、縄跳びや紐ゴマ回しができるように働きかけた。結果、創造的に遊びを展開させたり、挑戦し続け達成感を味わう子が多く現れた。子ども同士で意見交換をして共有し、遊びを深める姿が多くみられた。
(2) 園務分掌の理解と遂行。終礼で「遊びを深める環境」「教師の援助」等を議論	B	各自園務を把握し遂行できた。終礼や会議で職員が意見交換・共通理解をするのは大事である。環境設定の方法を模索したり、研修から保育のヒントを見つけたりして様々な援助ができた。はやり遊びや今ある問題をさらに話題にできるとよい。
(3) クラスだより・ブログ・町内回覧で幼稚園教育の理解と協力を得る。地域と繋がる。子育て支援を広める。	A	おたよりやブログで写真を多く掲載できた。そらべあ環境教育・3Rやみかん試食等の出前授業・園外保育・スイミング・パン作り等で保護者や地域の方と活発に交流・活動できた。子育て支援の日数を多く設けたが、来年はさらに人を呼びたい。

4 よりよい幼児期の教育を行っていくための改善策

5年度はお泊りキャンプや園外保育にも多く出かけた。子ども達には自分で頑張る意欲・友達と一緒に活動する意識・協同性が芽生えるなど多方面での成長が感じられた。6年度も、子どもの興味と育てたい力を考えて活動を計画すると同時に、保護者や地域社会への関わりを充実させていきたい。職員構成が変わるが、各々自己研鑽しながら、全職員で『子ども達が主体的に遊びを楽しむための保育者の援助や環境の工夫』を話し合いながら保育にのぞみたい。